

丸亀市の地域福祉に関するアンケート調査 ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、本市および市社会福祉協議会では「第3次地域福祉計画及び地域福祉活動計画」の次期計画の策定を予定しています。この計画は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりをより前進させるため、市民、関係機関・NPO・団体、社会福祉協議会・行政等が連携し、地域における支え合い、助け合いの仕組みづくりを、ともに考え、進めしていくものです。

このアンケート調査は、「第4次地域福祉計画及び地域福祉活動計画」策定に向けた取組のひとつとして、無作為抽出した18歳以上の市民3,000人を対象に実施するものです。アンケートを通じて「地域福祉」に対する皆様のお考えやご意見を寄せていただき、計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。

調査は無記名で、ご回答いただいた内容はすべてコンピュータで統計的に処理し、個々の回答内容が他に漏れたり、本計画策定の目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力をお願いします。

令和6年12月

丸亀市長

松永 恭二

丸亀市社会福祉協議会会長

横田 拓也

～ご記入にあたってのお願い～

- ご回答は、あて名のご本人が令和6年12月1日現在でご記入ください。また、ご本人が記入できない場合は、ご家族等がご本人のお考えを聞き取りご記入ください。
- ご回答は、あてはまる番号を○で囲むか、回答欄に回答を記入してください。「その他」を選択する場合は、「その他」の番号を○で囲み、()内になるべく具体的な内容をお書きください。
- 選択するご回答の数は、「○は1つ」「○は3つまで」など、選び方が指定されていますのでご注意ください。
- ご記入後は、回答用紙を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

令和7年1月15日（水）までにポストにご投函ください。

○インターネットによるご回答

右下の二次元コードを読み込むか、下記のURLにアクセスしIDを入力してください。

※IDは重複回答を防ぐもので、個人を特定するものではありません。

インターネットでご回答いただく場合は、調査票の返送は不要です。

<https://questant.jp/q/KWUIUH8R>

ID: ●●●●●



■調査に関するお問い合わせ■

丸亀市 健康福祉部 福祉課 地域福祉担当

電話: 0877-24-8873 FAX: 0877-24-8861

メールアドレス: chiiikifukushi-t@city.marugame.lg.jp

回答目安時間は
20分ほどでござる



あなたご自身についておたずねします

問1 あなたの性別はどちらですか。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は次のうちどれにあたりますか。(令和6年12月1日現在)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18~29歳 | 3. 40~49歳 | 5. 60~69歳 |
| 2. 30~39歳 | 4. 50~59歳 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 単身(一人暮らし) | 4. 三世代世帯(親と子と孫) |
| 2. 夫婦のみ(あなたと配偶者のみ) | 5. 単身赴任中 |
| 3. 二世代世帯(親と子) | 6. その他() |

問4 あなたもしくは同居している家族の中に、次のような方はいますか。
(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 乳児(1歳未満) | 5. 65歳以上の人 |
| 2. 小学校入学前の幼児 | 6. 介護を必要とする人 |
| 3. 小学生 | 7. 障がい者 |
| 4. 中学生・高校生 | 8. いずれもいない |

問5 あなたの主な職業は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 学生 | 5. 公務員、教員等 |
| 2. 会社員、団体職員等 | 6. パート・アルバイト・派遣 |
| 3. 自営業及びその家族従業員 | 7. 無職 |
| 4. 農林漁業 | 8. その他() |

問6 どちらの地区にお住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 東中学校区 | 4. 島しょ部 |
| 2. 西中学校区 | 5. 綾歌中学校区 |
| 3. 南中学校区 | 6. 飯山中学校区 |

問7 あなたは現在の地区に何年お住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10~20年未満 |
| 2. 1~5年未満 | 5. 20~30年未満 |
| 3. 5~10年未満 | 6. 30年以上 |

問8 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------|------------|
| 1. 隣近所 | 4. 中学校区 |
| 2. 自治会 | 5. 丸亀市全体 |
| 3. 小学校区 | 6. その他 () |

地域福祉に関する意識についておたずねします

問9 あなたは、住み慣れた地域で誰もが安心して生活をおくるためには、住民同士の支え合い・助け合いが必要だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 必要 | 4. 不必要 →問9(1)へ |
| 2. どちらかといえば必要 | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば不需要 | →問9(1)へ |

問9で「3. どちらかといえば不需要」「4. 不必要」を選んだ方におうかがいします。

問9(1) その理由は何ですか(○は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 誰もが安心して生活しているため |
| 2. 住民同士の支え合い・助け合い活動では安心して生活できないため |
| 3. 住民同士の支え合い・助け合い活動がどんなものか分からぬいため |
| 4. 特に理由はない |

問10 あなたがお住まいの地域では、住民同士の支え合い・助け合い活動が充実していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 充実している | 4. 充実していない |
| 2. どちらかといえば充実している | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば充実していない | |

問11 住民同士の支え合い・助け合いが地域で広がるために、あなたはどんなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 地域における福祉活動の重要性をもっとPRする |
| 2. 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する |
| 3. 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う |
| 4. リーダーや福祉活動に携わる人を養成する |
| 5. 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る |
| 6. 困っている人と、助けることのできる人とをつなぐ人材を育成する |
| 7. 困っている人や、助け合いの場や組織の情報を得やすくする |
| 8. 介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う |
| 9. 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する |
| 10. 地域での助け合いは必要ない |
| 11. その他 () |

問12 あなたは福祉に関心をお持ちですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------|
| 1. とても関心がある | 問12(1)へ |
| 2. まあまあ関心がある | |
| 3. あまり関心がない | 問12(2)へ |
| 4. まったく関心がない | |

問12で「1. とても関心がある」「2. まあまあ関心がある」を選んだ方におうかがいします。

問12(1) 福祉に関するどの分野に関心がありますか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 高齢者について | 8. ひきこもりについて |
| 2. 障がい者について | 9. 自殺対策について |
| 3. 児童・青少年について | 10. 更生施設からの社会復帰について |
| 4. 地域について | 11. 性的マイノリティについて |
| 5. 貧困・低所得者について | 12. 再犯防止について |
| 6. ひとり親家庭について | 13. その他() |
| 7. 保健・健康づくりについて | |

問12で「3. あまり関心がない」「4. まったく関心がない」を選んだ方におうかがいします。

問12(2) その理由は何ですか。(○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1. 今のところ自分にはあまり関係がないから |
| 2. 福祉のことがよくわからないから |
| 3. 特に理由はない |
| 4. その他() |

問13 あなたの地域福祉についての考え方一番近いものはどれですか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 地域住民が主体的に行うものなので、行政で行うべきではない |
| 2. 地域住民が主体的に行うものだが、住民で解決できない問題は、行政が行うべき |
| 3. 地域住民・行政・福祉関係者が協力して取り組むべき |
| 4. 行政で行うものだが、行政で解決できない問題は、住民が協力して行うべき |
| 5. 行政で行うものなので、住民が協力する必要はない |
| 6. わからない |
| 7. その他() |

問14 あなたは、地域福祉に関して、日頃、どのような取組をしたいと考えていますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 子育て支援やこどもとの交流活動 | 7. 自然や環境を守るための活動 |
| 2. 高齢者への支援・交流活動 | 8. 文化・スポーツ等生涯学習に関係した活動 |
| 3. 障がい者への支援・交流活動 | 9. 防犯・防災等地域の安全を守る活動 |
| 4. 健康や医療サービスに関係した活動 | 10. 地域の活性化やまちづくりのための活動 |
| 5. 国際交流に関係した活動 | 11. 何もしたくない |
| 6. 災害復旧のための活動 | 12. その他() |

日常生活についておたずねします

問15 あなたは、毎日の暮らしの中で、今困っていることや将来心配なことがありますか。
(○は3つまで)

- | | | |
|----------|-------------|------------|
| 1. 健康 | 7. 買い物 | 13. いじめ・虐待 |
| 2. 介護 | 8. 掃除・ゴミ出し | 14. 孤独・孤立 |
| 3. 育児・教育 | 9. 近所との人間関係 | 15. 特にない |
| 4. 仕事 | 10. 収入や家計 | 16. その他() |
| 5. 食事 | 11. 生きがい | |
| 6. 移動 | 12. 住まい | |

問16 あなたは、普段孤独を感じますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|------|-------------|------|
| 1. 常に感じる | 問17へ | 4. ほとんど感じない | 問18へ |
| 2. 時々感じる | | 5. まったく感じない | |
| 3. たまに感じる | | | |

問16で「1. 常に感じる」「2. 時々感じる」「3. たまに感じる」を選んだ方におうかがいします。

問17 あなたの孤独感に影響を与えたと思われる出来事はどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 一人暮らし | 8. 介護 |
| 2. 家族・親族との別れ | 9. 育児 |
| 3. 友人・知人との別れ | 10. こどもの独り立ち |
| 4. 自身の健康 | 11. 貧困 |
| 5. 家族の健康 | 12. その他() |
| 6. 環境の変化(転校・転職・退職・転居など) | |
| 7. 人間関係 | |

問18 あなたは現在、不安や悩みを誰に、もしくはどこに相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 家族・親戚 | 12. 児童相談所(香川県子ども女性相談センター) |
| 2. 知人・友人 | 13. 地域包括支援センター |
| 3. 近所の人 | 14. 老人介護支援センター |
| 4. 自治会長 | 15. 社会福祉協議会 |
| 5. 民生委員・児童委員、主任児童委員 | 16. 社会福祉法人などの民間団体やNPO法人 |
| 6. 福祉ママ | 17. 医療機関 |
| 7. 福祉協力員 | 18. 幼稚園・保育所・こども園、学校の先生、恩師 |
| 8. 身体・知的障がい者相談員 | 19. 警察 |
| 9. ケアマネジャー等の専門職 | 20. インターネット・SNS |
| 10. コミュニティセンター | 21. 誰にも相談しない |
| 11. 行政(市役所・県庁・中讃保健所など) | 22. 相談できる人がいない |
| | 23. その他() |

問19 あなたがお住まいの地域には、どのような課題や問題があると思いますか。

(○は3つまで)

1. 青少年の健全育成に関すること
2. ひとり親家庭の子育てに関すること
3. 共働き家庭の子どもの生活に関すること
4. 乳幼児期の子育てに関すること
5. 高齢者の社会参加や生きがいづくりに関すること
6. 障がい者の社会参加や生きがいづくりに関すること
7. 高齢者世帯への生活支援に関すること
8. 障がい者への生活支援に関すること
9. こどもや高齢者、障がい者などへの虐待防止に関すること
10. 健康づくりについての人々の意識や知識に関すること
11. ひきこもりの方の支援に関すること
12. 自殺対策に関すること
13. 防犯など地域の安全に関すること
14. 子どもの貧困に関すること
15. 過去に犯罪や非行などをした人の更生に関すること
16. 孤独・孤立に関すること
17. 防災に関すること
18. 課題や問題は特になし
19. その他 ()

問20 あなたが現在住んでいる地域の暮らしやすさはいかがですか。

(①～⑩の各項目について、「1」～「5」の番号のうちひとつだけ○)

項目	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満
① 近隣の生活マナー	1	2	3	4	5
② 地域の防災体制	1	2	3	4	5
③ 福祉・保健サービスや相談体制	1	2	3	4	5
④ 病院など医療関係施設	1	2	3	4	5
⑤ 買い物などの便利さ	1	2	3	4	5
⑥ 公的な手続きの便利さ	1	2	3	4	5
⑦ 道路や交通機関などの使いやすさ	1	2	3	4	5
⑧ 講演会・コンサートなどの文化教養活動	1	2	3	4	5
⑨ 公園や緑地などの自然環境	1	2	3	4	5
⑩ 地域の雰囲気やイメージ	1	2	3	4	5

問21 あなたは日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのがよいと思いますか。(○は1つ)

1. 自分たちの生活に関わることだから、できるだけ市民同士で協力して解決したい
2. 地域のことに関心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
3. 福祉に関わる専門職に相談し解決したい
4. 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
5. 市民と行政が相互に協力し、お互いを補完し合って解決したい
6. その他 ()

問22 あなたは、福祉に関する情報をどこから入手していますか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 市の広報紙(広報まるがめ) | 10. 福祉協力員 |
| 2. 市のホームページ | 11. 身体・知的障害者相談員 |
| 3. 市社会福祉協議会の広報紙(かけはし) | 12. 新聞・雑誌 |
| 4. 市社会福祉協議会のホームページ | 13. テレビ・ラジオ |
| 5. 市役所の窓口 | 14. 近所・知り合い |
| 6. 市社会福祉協議会の窓口 | 15. インターネット・SNS |
| 7. 自治会の回覧板 | 16. 団体や協会の会報や情報紙 |
| 8. 民生委員・児童委員、主任児童委員 | 17. その他 () |
| 9. 福祉ママ | |

問23 あなたは、福祉に関する情報をどの程度入手できているとお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分入手できている | 4. ほとんど入手できていない |
| 2. ある程度入手できている | 5. わからない |
| 3. あまり入手できていない | 6. その他 () |

問24 あなたは、家や学校・職場以外に気軽に行ける居場所がありますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. ある | → 問24(1)へ |
| 2. ない | |
| 3. 居場所は必要としていない | |

問24で「1. ある」を選んだ方におうかがいします。

問24(1) それはどのような場所・施設ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-------------------|-------------------------------------|
| 1. 親族の家 | 7. お店やカフェ等の商業施設 |
| 2. 友人・知人の家 | 8. 所属している団体等の施設 |
| 3. 図書館や児童館などの市の施設 | 9. マルタスなど市民が交流できる施設 |
| 4. コミュニティセンター | 10. 学校・職場(過去に在籍していた場所) |
| 5. 公園や緑地 | 11. インターネット空間(SNS、YouTube、オンラインゲーム) |
| 6. 習い事などの教室 | 12. その他 () |

隣近所との関わりについておたずねします

問25 あなたは、近所の人とどの程度のつきあいをしていますか。(○は1つ)

1. 特に用事がなくても行き来し、世話をしたりする家族同様のつきあい
2. よく行き来はするが、家庭の中までは入らない
3. 顔が合えば立ち話をする程度
4. 顔が合えば挨拶はする程度
5. 近所にどんな人が住んでいるのかわからない
6. 近所づきあいはしない
7. その他 ()

問26 あなたは、今の近所づきあいに満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. かなり満足している | 4. 少し不満がある |
| 2. まあまあ満足している | 5. 大いに不満がある |
| 3. どちらとも言えない | |
- 問26 (1) へ

問26で「4. 少し不満がある」「5. 大いに不満がある」を選んだ方におうかがいします。

問26 (1) どのようなことが不満ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. もっと親密なつきあいが良い | 4. 人間関係がうまくいっていない |
| 2. もう少し距離を置いたつきあいが良い | 5. その他 () |
| 3. もっと多くの人とつきあいたい | |

問27 あなたは、これまで地域の問題について地域の人と話す機会がありましたか。

(○は1つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

問28 あなたは、地域の問題について地域の人と話す機会があれば参加したいですか。

(○は1つ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 参加したい | 3. どちらかといえば参加したくない |
| 2. どちらかといえば参加したい | 4. 参加したくない |

問29 あなたの近所には、次のような、見守りを必要とする人や気にかかる人がいますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. こども (おおよそ小学生まで) | 7. 障がい者 |
| 2. ひとり親家庭 | 8. ひきこもりの人 |
| 3. 高齢者のみの世帯 | 9. 生活に困窮している人 |
| 4. 寝たきりの人 | 10. いない |
| 5. 認知症の人 | 11. その他 () |
| 6. 病気療養している人 | |

問30 暮らしの中で困りごとを抱える人たちから助けの求めがあった場合に、あなたはどうのように対応したいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 積極的に対応したい | 4. かかわりたくない |
| 2. できるだけ対応したい | 5. その他() |
| 3. 対応してもよいが、できるだけ避けたい | |

問31 近所で困っている方がいた時、あなたができることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 安否確認の声掛け | 10. 短時間の子どもの預かり |
| 2. 話し相手 | 11. 介護を必要とする人の短時間の預かり |
| 3. 悩み事、心配事の相談 | 12. 幼稚園・保育所・こども園の送迎 |
| 4. ちょっとした買い物 | 13. 子育ての相談 |
| 5. ちょっとした家事・修理 | 14. 災害時の手伝い |
| 6. ゴミ出し | 15. 市や関係機関へ連絡 |
| 7. ちょっとした外出の手伝い | 16. どれもできない |
| 8. 急病になった時の看病 | 17. その他() |
| 9. 病院に薬をもらいに行く | |

問32 近所の人に手助けをしてもらうとしたら、あなたはどのようなことをしてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 1. 安否確認の声掛け | 11. 介護を必要とする人の短時間の預かり |
| 2. 話し相手 | 12. 幼稚園・保育所・こども園の送迎 |
| 3. 悩み事、心配事の相談 | 13. 子育ての相談 |
| 4. ちょっとした買い物 | 14. 災害時の手伝い |
| 5. ちょっとした家事・修理 | 15. 市や関係機関へ連絡 |
| 6. ゴミ出し | 16. どれもしてもらう必要はない |
| 7. ちょっとした外出の手伝い | 17. してもらいたいことはあるが、
近所の世話になりたくない |
| 8. 急病になった時の看病 | |
| 9. 病院に薬をもらいに行く | 18. その他() |
| 10. 短時間の子どもの預かり | |

地域活動やボランティア活動についておたずねします

問33 あなたは、現在、自治会や子ども会、PTA、コミュニティ等の地域活動をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. 現在活動している | → 問33(1)～(3)へ |
| 2. 現在活動していないが、過去に活動したことがある |] 問33(4)へ |
| 3. 活動したことがない | |

問 33 で「1. 現在活動している」を選んだ方におうかがいします。

問 33 (1) どの程度活動していますか。(○は 1 つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 積極的に活動している | 3. あまり活動していない |
| 2. ほどほどに活動している | |

問 33 (2) どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 自治会の活動 | 6. PTAの活動 |
| 2. 子ども会の活動 | 7. 老人クラブの活動 |
| 3. 婦人会の活動 | 8. コミュニティの活動 |
| 4. 青年団の活動 | 9. その他 () |
| 5. 体育協会の活動 | |

問 33 (3) どのような目的で活動していますか。(○は 1 つ)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 地域をよくしたい | 6. 人の役に立ちたい |
| 2. 隣近所とのふれあいを求めて | 7. 役回りなどで仕方なく |
| 3. 自分自身の勉強や意識の向上 | 8. ただなんとなく |
| 4. 自分の知識や技術を生かすため | 9. その他 () |
| 5. 時間の有効活用 | |

問 33 で「2. 現在活動していないが、過去に活動したことがある」「3. 活動したことがない」を選んだ方におうかがいします。

問 33 (4) 現在活動していない理由は何ですか。(○は 3 つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 自治会に入っていない | 7. 興味がない |
| 2. 仕事や家事で時間がない | 8. 家族が反対するから |
| 3. 引っ越して間もない | 9. 体調が優れない |
| 4. 参加方法がわからない | 10. いやな思いをしたくない |
| 5. 一緒に参加する友達がない | 11. その他 () |
| 6. 病人や高齢者など家族の世話をしている | |

問 34 あなたは、問 33 のような地域での活動以外に、個人的にボランティア活動（有償のボランティア活動も含む）に参加したことがありますか。(○は 1 つ)

- | | |
|---------------------------------|------------|
| 1. 現在参加している | 問 34 (1) へ |
| 2. 過去に参加したことがあるが、現在は参加していない | |
| 3. まったく参加したことはないが、今後参加したい | |
| 4. まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない | |

問34で「1. 現在参加している」「2. 過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」「3. まったく参加したことはないが、今後参加したい」を選んだ方におうかがいします。

問34（1）あなたは、どのようなボランティア活動をしています（していました）（したいと思います）か。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. ひとり暮らしの高齢者の援助 | 7. 災害時の救援活動 |
| 2. 子育ての支援や子どもの世話 | 8. ノーツ・文化・レクリエーションに関する活動 |
| 3. 障がい者（児）の援助 | 9. 国際交流に関する活動 |
| 4. 保健福祉に関する活動 | 10. まちづくりに関する活動 |
| 5. 自然や環境保護に関する活動 | 11. 青少年の健全な育成に関する活動 |
| 6. 防犯や防災に関する活動 | 12. その他（ ） |

問35 地域のボランティア活動をすすめていく上で、市はどのように取り組む必要があると思いますか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 金銭的な支援 | 6. ボランティア活動のリーダー役の育成 |
| 2. ボランティア休暇制度 | 7. ボランティアに関する積極的な情報提供 |
| 3. 学校での福祉教育 | 8. トラブル発生時の対応 |
| 4. ボランティア活動に関する相談 | 9. ボランティア活動の推進は不要 |
| 5. ボランティア活動の拠点となる場所の提供 | 10. その他（ ） |

災害時についておたずねします

問36 近年、災害が多発しています。災害に備えて日頃から地域でどのようなことが必要だと思いますか。（○は2つまで）

- | |
|---|
| 1. 日頃から顔の見える関係づくりのために、地域でふれあえる機会を多くつくる |
| 2. 防災訓練のあり方を見直し、災害時の避難訓練などを定期的に行う |
| 3. 見守りが必要な世帯を記載した防災マップを整備する |
| 4. 防災学習や地域独自のハザードマップづくりなど、自主防災会等の活動を活発化する |
| 5. 災害時に備えて地域や自治会で見守り等が必要な方の個人情報の取扱いを考える |
| 6. 必要物資を備蓄して災害に備える |
| 7. その他（ ） |

問37 あなたは、丸亀市で災害（地震や台風、土砂災害など）が起こった時に、どのようなことが不安ですか。（○は3つまで）

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 避難場所がわからないこと | 7. 住んでいる場所が孤立すること |
| 2. 避難場所まで遠いこと | 8. 食料や水を確保できること |
| 3. 素早く避難できること | 9. 家族や親族の安否確認ができないこと |
| 4. 近所に自力で避難できないと思う人がいること | 10. 特にない |
| 5. 避難場所の生活が長引くこと | 11. その他（ ） |
| 6. 災害の情報を正確に収集できること | |

問38 あなたは、地域の防災訓練に参加していますか。（○は1つ）

- | |
|------------|
| 1. 参加している |
| 2. 参加していない |

問39 あなたは、「避難行動要支援者名簿」を知っていますか。（○は1つ）

- | |
|----------------------|
| 1. 名前も内容も知っている |
| 2. 名前は知っているが、内容は知らない |
| 3. 名前も内容も知らない |

※ 避難行動要支援者名簿とは、高齢者や障がいのある人等、災害時に自力で避難することが難しく、避難支援を必要とする人（避難行動要支援者）を把握するために、市町村が作成する名簿です。（一定の要件があります。）

問40 あなたは、「個別避難計画」を知っていますか。（○は1つ）

- | |
|----------------------|
| 1. 名前も内容も知っている |
| 2. 名前は知っているが、内容は知らない |
| 3. 名前も内容も知らない |

※ 個別避難計画とは、避難行動要支援者ごとに、どのような避難行動をとれば良いのかについて、あらかじめ、本人・家族等と確認して作成する個別の避難計画です。

問41 あなたは、災害時の避難行動について、家族で話し合ったことがありますか。（○は1つ）

- | |
|-------|
| 1. ある |
| 2. ない |

問42 あなたは、ハザードマップについて知っていますか。（○は1つ）

- | |
|----------|
| 1. 知っている |
| 2. 知らない |

福祉制度や福祉事業についておたずねします

問4 3 あなたは、「生活困窮者自立支援制度」を知っていますか。(○は1つ)

- 1. 名前も内容も知っている
- 2. 名前は知っているが、内容は知らない
- 3. 名前も内容も知らない

※ 生活困窮者自立支援制度とは、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方へ、包括的な支援を行う制度です。

問4 4 生活困窮者の問題や支援制度について、あなた自身は具体的にどのような支援が最も必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 職業相談・紹介 | 8. こどもへの学習支援 |
| 2. 就労のための訓練 | 9. 進学の支援 |
| 3. 就労後の支援 | 10. 高校中退防止のための支援 |
| 4. 家計の相談 | 11. 自殺対策 |
| 5. 生活再建のための貸付 | 12. メンタルヘルスの支援 |
| 6. ひきこもりの方の支援 | 13. その他 () |
| 7. 住居に関する支援 | |

問4 5 あなたは、「あすたねっと」について知っていますか。(○は1つ)

- 1. 名前も内容も知っている
- 2. 名前は知っているが、内容は知らない
- 3. 名前も内容も知らない

※ 「あすたねっと」とは、経済的な問題、就労に関すること、ひきこもりなど、様々な生活課題を抱えた方や家族のための相談窓口です。丸亀市社会福祉協議会に設置しています。

問4 6 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○は1つ)

- 1. 名前も内容も知っている
- 2. 名前は知っているが、内容は知らない
- 3. 名前も内容も知らない

※ 成年後見制度とは、認知症の高齢者や知的障がい、精神障がいがあるなどの理由で、ご自分で物事を判断する能力が十分でない方の、権利や財産を守るための制度です。

問4 7 あなたは、「市民後見人」について知っていますか。(○は1つ)

- 1. 名前も内容も知っている
- 2. 名前は知っているが、内容は知らない
- 3. 名前も内容も知らない

※ 市民後見人とは、弁護士や司法書士などの資格を持たない親族以外の市民による後見人のことです。

問4 8 あなたは、「重層的支援体制整備事業」を知っていますか。(○は1つ)

- 1. 名前も内容も知っている
- 2. 名前は知っているが、内容は知らない
- 3. 名前も内容も知らない

※ 重層的支援体制整備事業とは、介護・障がい・子育て・生活困窮といった分野別の相談支援体制では解決できない生活上の困りごとに対応するため、既存の取組を活かしつつ、市全体で属性を問わない包括的な体制を整備する事業です。

問4 9 あなたにとって、「ダブルケア」や「8050問題」、「ヤングケアラー」などの問題は身近な問題だと思いますか。(○は1つ)

- 1. 思う
- 2. どちらかといえば思う
- 3. どちらかといえば思わない
- 4. 思わない

※ ダブルケアとは、子育てと親の介護を同時に抱えている状態を指します。

※ 8050問題とは、80代の親が50代の子の生活を支える問題のことです。

※ ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをこどもが日常的に行っている状態を指します。

丸亀市社会福祉協議会についておたずねします

問5 0 あなたは丸亀市社会福祉協議会を知っていますか。(○は1つ)

- 1. 名前も活動の内容もよく知っている
- 2. 名前を聞いたことはあるが、活動の内容はよく知らない
- 3. 名前も活動の内容もよく知らない

問5 1 丸亀市社会福祉協議会では、福祉についての情報提供や福祉への理解を深めていたくために、社協だより『かけはし』を年4回発行しています。読んだことがありますか。(○は1つ)

- 1. 繙続的に読んでいる
- 2. 読んだことがある
- 3. 知っているが読んだことはない
- 4. 知らなかった

問5 2 丸亀市社会福祉協議会では、福祉についての情報提供や福祉への理解を深めていたくために、ホームページやSNSを開設しています。閲覧したことがありますか。(○は1つ)

- 1. よく閲覧している
- 2. 閲覧したことがある
- 3. 知っているが閲覧したことはない
- 4. 知らなかった

問5 3 丸亀市社会福祉協議会の事業で、あなたが知っているものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| 1. 重層的支援体制整備事業に向けた準備事業 | 20. 共同募金運動・歳末たすけあい運動 |
| 2. 福祉情報メール配信事業（情報♡ほっとメール） | 21. 生活支援配食サービス事業 |
| 3. 救急医療情報キット配布事業（安心キット） | 22. 車いすの貸出事業 |
| 4. 企業連携型巡回見守り活動 | 23. ふくし体験グッズの貸出事業 |
| 5. 家具転倒防止器具設置支援事業 | 24. 育児用品貸出事業 |
| 6. たすけあいサービス事業 | 25. 移動販売支援事業 |
| 7. 生活支援体制整備事業 | 26. 丸亀市自立相談支援センター「あすたねっと」 |
| 8. 子ども食堂・居場所づくりネットワーク事業 | 27. 資金貸付事業 |
| 9. ファミリー・サポート・センター事業 | 28. 法人後見推進事業 |
| 10. ふれあい・いきいきサロン事業 | 29. 市民後見推進事業 |
| 11. 高齢者友愛訪問活動事業 | 30. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業） |
| 12. 世代間交流支援事業（オルデ通町） | 31. 成年後見制度利用促進事業（後見センターまるがめ） |
| 13. 丸亀市無料法律相談事業 | 32. 香川おもいやりネットワーク事業（おもいやりネット丸亀） |
| 14. ボランティアセンター事業 | 33. しおや保育所 |
| 15. ふくしフェスティバル | 34. ケアマネジャー |
| 16. フードバンク活動事業 | 35. 高齢者ホームヘルプサービス |
| 17. まるがめ高校生ボランティア部 | 36. 子育てホームヘルプサービス |
| 18. 丸亀市社会福祉大会 | 37. 障害者ホームヘルプサービス |
| 19. 社協だより『かけはし』の発行 | |

丸亀市の地域福祉についておたずねします

問5 4 今後、地域福祉を進めるために丸亀市はどのような施策に優先して取り組んでいくべきだと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域の支え合いの仕組みづくり
2. 地域での交流ができる場の充実
3. こどもの頃からの福祉活動への参加の促進
4. 子育ての支援体制の充実
5. 学校における福祉教育の充実
6. 高齢者や障がい者（児）の生活支援
7. 地域でのさまざまな交流活動の促進
8. 健康づくり事業の充実
9. 医療サービス体制の充実
10. 公共施設や道路等のバリアフリー化の推進
11. ボランティアやNPOの育成と活動支援
12. 移動手段の充実
13. 地域における身近な相談体制づくり
14. 福祉サービスに関する情報の充実
15. 防犯・交通安全・防災体制の充実
16. 生活困窮者への支援の充実
17. その他（ ）

問5 5 「地域のつながりや支え合い」を高めていくためのご意見やご提案等がありましたらご記入ください。

（複数行記入用の長方形枠）

以上でアンケート調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、**1月15日（水）まで**に、

同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずに投函してください。

丸亀市の地域福祉に関するアンケート調査

ご協力のお願い【関係団体調査】

丸亀市は、年齢や障がいの有無、性別に関わらず、丸亀市に暮らすすべての市民が、住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりのさらなる発展を目指し、「第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定します。

その取組の一環として、各福祉関係団体が実施している活動の状況や今後の方向性をお聞きし、計画づくりの貴重な資料とさせていただくために本調査を実施いたします。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、今回の調査は、市内の福祉関係団体の方々に調査票を送付させていただいておりますが、ご回答いただいた内容から、回答者が特定されることは一切ございません。また、ご回答いただいた内容については、計画策定及び施策の検討のみに使用します。

令和7年1月

丸亀市長

松永 恭二

丸亀市社会福祉協議会会長

横田 拓也

ご記入いただいた調査票は、**令和7年2月18日（火）**までに提出してください。
ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

○インターネットによる回答

右下の二次元コードを読み込むか、下記のURLにアクセスしIDを入力してください。
※IDは重複回答を防ぐものです。

インターネットでご回答いただく場合は、調査票の返送は不要です。

<https://questant.jp/q/76DJl63J>

ID : ●●●●●



団体の名称			
代表者名		調査票記入者名	
団体会員数（※）	人	発足して何年（※）	年
福祉に関する主な活動内容			

（※）記入日現在でご回答ください



■調査に関するお問い合わせ■

丸亀市 健康福祉部 福祉課 地域福祉担当
電話：0877-24-8873 FAX：0877-24-8861
メールアドレス：chiikifukushi-t@city.marugame.lg.jp



I 貴団体のことについて、お聞きします。

問1 貴団体の活動範囲（地域）は、次のうちどれにあたりますか。（○はひとつ）

- | | | |
|-------------|-----|--------------|
| 1. 市内の一部地域（ | 地域） | 5. 隣接県を含む地域 |
| 2. 市内全域 | | 6. 特に決まっていない |
| 3. 市内と近隣市町 | | 7. その他 |
| 4. 県内全域 | | （具体的に
） |

問2 貴団体で取り組んでいる活動の分野は、次のどれにあてはまりますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1. 高齢者支援 | 7. 趣味活動支援（スポーツ・生涯学習など） |
| 2. 障がい者支援 | 8. 青少年育成・支援 |
| 3. 子育て支援 | 9. 国際交流・国際協力 |
| 4. 健康づくり・医療 | 10. まちづくり |
| 5. 消防・防災・防犯 | 11. 人権問題 |
| 6. 地域の清掃・美化 | 12. その他（具体的に
） |

問3 貴団体や貴団体の活動は、丸亀市民に広く認知されていると思いますか。

（○はひとつ）

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 広く認知されている | 3. 関係する分野の人には認知されている |
| 2. ある程度認知されている | 4. あまり認知されていない |

問4 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 市や社会福祉協議会の広報紙 | 5. 特になし |
| 2. チラシやパンフレットの配布 | 6. その他 |
| 3. ホームページ・SNS | （具体的に
） |
| 4. メンバーなどによる口コミ | |

問5 貴団体が活動等を行ううえで困っていることはどのようなことですか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 活動のマンネリ化 | 7. 他の団体と交流する機会が乏しい |
| 2. 新しいメンバーが入らない | 8. 活動資金が足りない |
| 3. リーダー（後継者）が育たない | 9. 活動の場所（拠点）の確保が難しい |
| 4. 支援を必要とする人の情報が得にくい | 10. 特に困っていることはない |
| 5. 市民に情報発信する場や機会が乏しい | 11. その他 |
| 6. 人々のニーズが具体的につかめない | （具体的に
） |

II 貴団体が取り組んでいる活動についてお聞きします。

問6 普段活動されている中で、地域の人々からどのような日常の困りごと、地域の問題等を聞くことがありますか。

問7 問6の回答の中で、貴団体が対応できるものにはどんなことがあげられますか。

問8 上記の対応をするうえで、行政を含め他の団体に協力してほしいことはありますか。

問9 貴団体では、活動を行ううえで他のボランティア団体や公共団体等との交流や協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 自治会 | 9. N P O |
| 2. 地区コミュニティ | 10. 商工会・商店街・企業等 |
| 3. 民生委員・児童委員、主任児童委員 | 11. 保育所・幼稚園・こども園 |
| 4. 老人クラブ | 12. 小・中学校、高等学校 |
| 5. 高齢者福祉施設 | 13. 保護者会・P T A |
| 6. 障がい者福祉施設 | 14. 特に関係はない |
| 7. 社会福祉協議会 | 15. その他(具体的に) |
| 8. ボランティア団体 | |

問10 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする
2. 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する
3. 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う
4. ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する
5. 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る
6. 困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする
7. 介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う
8. 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する
9. 特にない
10. その他（具体的に）

問11 多様な生活課題に対して制度等の枠を超えた包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする
2. より身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所などの相談を充実する
3. 相談に行けない（行かない）人を発見し、窓口につなぐ取組を充実する
4. 相談を支援に結びつけるよう、関係者のネットワークを充実する
5. 課題を解決するため、サービスや社会資源を開発する取組を充実する
6. 相談しやすいように、窓口の開設時間や相談を受ける方法を改善する
7. その他（具体的に）

III 利用者についてお聞きします。

問12 最近の貴団体の利用者の傾向について、どのように感じますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 既存の制度では対応できない個人や世帯が増えてきている
2. 分野をまたがる複合的な福祉課題を抱える個人や世帯が増えている
3. 対象者だけではなく、世帯全体への支援の必要なケースが増えている
4. 地域のつながりが薄れ、社会から孤立した個人や世帯が増えている
5. 相談や支援を拒否する個人や世帯が増えている
6. 特に変化は感じない
7. その他 ()

問13 「制度の狭間」や「複合多問題」といった福祉課題を抱えた個人や世帯について、相談を受けたことがありますか。(○は1つ)

1. ある → 問13-1・問13-2へ
2. ない

問13で「1.ある」と回答した方のみお答え下さい。

問13-1 問13のような相談は、どこから受けることが多いですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------|--------------|------------|
| 1. 当事者 | 3. 民生委員・児童委員 | 5. 事業所 |
| 2. 近隣住民 | 4. 相談支援機関 | 6. その他 () |

問13-2 受けた相談が通常関わる活動範囲以外の内容である場合、どのように対応していますか。(○は2つまで)

1. 相談内容に合致する相談支援機関に直接連絡し、相談者と同行訪問して状況確認するなどの対応をしている
2. 相談内容に合致する相談支援機関に直接連絡し、対応を依頼する
3. 相談内容に合致する相談支援機関を相談者に伝え、相談者から直接相談してもらっている
4. 活動範囲以外の相談内容であっても、できる範囲で対応している
(※対応の多い内容を記載してください)
5. 活動範囲以外の相談内容には、特に対応していない
6. どのように対応したらよいかわからない
7. その他 ()

問14 相談者への支援にあたって通常関わる活動範囲以外の相談支援機関・施設と連携する必要があるときに、連絡や連携はスムーズに行われていると感じますか。

(○は1つ)

- 1. 感じる
- 2. 感じない → 問14-1へ
- 3. 連携する機会はない

問14で「2.感じない」と回答した方のみお答え下さい。

問14-1 その理由として最もあてはまるのは何ですか。(○は1つ)

- 1. 連携に必要な相談支援機関・施設などの資源が地域に少ない
- 2. 他の相談支援機関・施設と日頃からの交流がない
- 3. 他の相談支援機関・施設の内容や対応可能な業務が共有されていない
- 4. 他の相談支援機関・施設の業務に関する知識に乏しいため連絡しづらい
- 5. 他の相談支援機関・施設に連絡しても断られる
- 6. どのように(どこと)連携すればよいかわからない
- 7. その他()

問15 最近、「制度の狭間」や「複合多問題」といった福祉課題を抱えるため、単独の部署や相談支援機関のみでは対応困難な個人や世帯が増えてきていると言われています。このような場合に、複数の関係部署・機関をコーディネートする部署や相談支援機関が必要と考えますか。(○は1つ)

- 1. 必要である → 問15-1へ
- 2. 必要でない → 問15-2へ

問15で「1. 必要である」と回答した方のみお答え下さい。

問15-1 コーディネートする部署や相談支援機関に必要な機能は何ですか。

(○は2つまで)

- 1. 適切にコーディネートできる能力
- 2. 様々な制度や分野に関する知識
- 3. 部署・相談支援機関同士の顔が見える関係づくり
- 4. 部署・相談支援機関の間で、支援の経過を確実にやりとりするための連絡票などの仕組みづくり
- 5. 課題をとりまとめ、既存の制度では対応できない課題を解決するための新たな制度づくり
- 6. その他()

問 15 で「2. 必要でない」と回答した方のみお答え下さい。

問 15-2 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 既に連携をコーディネートする機能（仕組み）があるから
- 2. 通常業務の中で連携が図れているから
- 3. その他 ()

IV 災害についてお聞きします。

問 16 近年、災害が多発しています。災害に備えて日頃から地域でどのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

- 1. 日頃から顔の見える関係づくりのために、地域でふれあえる機会を多くつくる
- 2. 防災訓練のあり方を見直し、災害時の避難訓練などを定期的に行う
- 3. 見守りが必要な世帯を記載した防災マップを整備する
- 4. 防災学習や地域独自のハザードマップづくりなど、自主防災会等の活動を活発化する
- 5. 災害時に備えて地域や自治会で見守り等が必要な方の個人情報の取扱いを考える
- 6. 必要物資を備蓄して災害に備える
- 7. その他 ()

問 17 貴団体がある地域では、災害時において、避難が困難だと感じる人がいますか。(○は1つ)

- 1. いる
- 2. いない

問 18 避難が困難だと感じる人に対して、貴団体ではどのような取組をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 災害時に支援が必要な人がどこにいるかなどの情報提供
- 2. 地域での防災組織の確立
- 3. 災害時に活動のコーディネートや支援を行う人材の育成
- 4. 災害時の避難や救出等に活用できる資材の準備
- 5. 平時からの意識づくりや話し合い、訓練などの実施
- 6. 個別避難計画等の作成
- 7. 災害等の情報の入手方法
- 8. 特にない
- 9. その他 ()

V 福祉制度や福祉事業についてお聞きします。

問29 「あすたねっと」について知っていますか。(○はひとつ)

- 1. 名前を知っているし、利用している（したことがある）
- 2. 名前は知っているが、利用したことはない
- 3. 名前を知らないし、利用したことない

※ 丸亀市自立相談支援センター「あすたねっと」：経済的な問題、就労に関すること、ひきこもりなど、様々な生活課題を抱えた方や家族のための相談窓口として丸亀市社会福祉協議会が設置しています。

問20 貴団体の活動の中で、「再犯防止」に関して取り組んでいることや協力していることはありますか。(○はひとつ)

- 1. ある（具体的に）
- 2. ない

※ 「再犯防止」の取組とは、犯罪をした者等の円滑な社会復帰を促進し、再び罪を犯さないようにして、誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現するための取組です。

問21 貴団体が今後、社会貢献活動を行う矯正施設や更生保護施設等と共同で取り組めることはありますか？（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 環境保全活動 | 4. 専門知識の伝授 |
| 2. 居場所づくり | 5. その他（） |
| 3. ものづくり | |

※ 「矯正施設」とは、非行や犯罪をした者を矯正して社会復帰させる施設です。「更生保護施設」とは、矯正施設から出所・出院した人や保護観察中の人が身寄りがなく帰るべき住居がないこと等、直ちに自立更生することが困難な人に対して一定期間宿泊場所や食事を提供する民間の施設です。

問22 今後丸亀市は、再犯防止のためにどのようなことに力を入れていくべきだと思います。(○は2つまで)

- 1. 再犯防止についての理解を深めるための広報・啓発活動
- 2. 就労・住居の確保等を通じた自立支援のための取組
- 3. 高齢者や障害者、薬物依存の問題を抱える者への保健医療・福祉サービスの提供
- 4. 学校等と連携した修学支援実施等のための取組
- 5. 民間協力者の活動支援
- 6. 地域ぐるみでの再犯防止に向けた取り組みの支援
- 7. 分からない
- 8. その他（具体的に）

問2 3 貴団体での活動を通じて、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援等を行うことがありますか。(○は1つ)

- 1. 成年後見制度を利用するための支援を行うことがある
- 2. 制度を利用するための支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある
- 3. 活動のなかで、成年後見制度を利用することが望ましいと思う人を発見することはない
- 4. 特にない
- 5. その他（具体的に）

※ 「成年後見制度」とは、認知症の高齢者や知的障がい、精神障がいがあるなどの理由で、ご自分で物事を判断する能力が十分でない方の、権利や財産を守るための制度です。

問2 4 成年後見制度の利用を促進するうえで、力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 市民や関係者に制度を周知するよう、情報提供や広報を充実する
- 2. 支援が必要な人を発見し、相談や支援につなぐ取組を充実する
- 3. 市民後見人（後見活動を行うボランティア）も含め、支援の担い手づくりを充実する
- 4. 支援や連携の中核機関（社会福祉協議会が運営する「後見センターまるがめ」）を充実する
- 5. 手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする
- 6. 制度を利用するための経済的な負担を軽減する
- 7. 特にない
- 8. その他（具体的に）

問2 5 貴団体における、現在の行政や社会福祉協議会との連携状況や取り組み、地域福祉推進のために今後取り組みたいこと、住民組織等との連携についてなど、思っていることや課題をご自由にお書きください。

■その他、地域福祉に関するご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

丸亀市の地域福祉に関するアンケート調査 ご協力のお願い【事業所調査】

丸亀市は、年齢や障がいの有無、性別に関わらず、丸亀市に暮らすすべての市民が、住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりのさらなる発展を目指し、「第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定します。

その取組の一環として、各事業所の運営状況や今後の方向性をお聞きし、計画づくりの貴重な資料とさせていただくために本調査を実施いたします。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、今回の調査は、市内の事業所様に調査票を送付させていただいておりますが、ご回答いただいた内容から、回答者が特定されることはありません。また、ご回答いただいた内容については、計画策定及び施策の検討のみに使用します。

令和7年1月

丸亀市長

松永 恭二

丸亀市社会福祉協議会会長

横田 拓也

ご記入いただいた調査票は、**令和7年2月18日（火）**までに提出してください。
ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

○インターネットによる回答

右下の二次元コードを読み込むか、下記のURLにアクセスしIDを入力してください。

※IDは重複回答を防ぐものです。

インターネットでご回答いただく場合は、調査票の返送は不要です。

<https://questant.jp/q/BXLUKXZL>

ID : ●●●●●



事業所の名称	
記入者名	
福祉に関する主な活動内容	



■調査に関するお問い合わせ■

丸亀市 健康福祉部 福祉課 地域福祉担当
電話 : 0877-24-8873 FAX : 0877-24-8861
メールアドレス : chiikifukushi-t@city.marugame.lg.jp

回答目安時間は
15分ほどでござる



I 貴事業所のことについて、お聞きします。

問1 貴事業所が提供する福祉サービスの対象としている人はどんな方々ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 高齢者 | 5. 小・中学生 |
| 2. 障がい者 | 6. 高校生・大学生等 |
| 3. 子育て中の保護者 | 7. 外国人 |
| 4. 未就学児 | 8. その他（具体的に
） |

問2 貴事業所が対象としている人向けの、行政及び民間の福祉サービスの量や質は充足していると思いますか。（○は1つ）

また、課題や改善すべき点など、気づいたことや日ごろ思っていることを具体的に記入してください。

① 量

- 1. 充足している
- 2. どちらかといえば充足している
- 3. どちらかといえば充足していない
- 4. 充足していない

具体的に記入

② 質

- 1. 充足している
- 2. どちらかといえば充足している
- 3. どちらかといえば充足していない
- 4. 充足していない

具体的に記入

問3 貴事業所が対象としている人について、支援が必要であるにもかかわらず、福祉サービスの利用に結びついていない人がいますか。（○は1つ）

1. いる

→ 問3-1へ

2. いない

問3で「1. いる」と回答した方のみお答え下さい。

問3-1 そのような人たちを福祉サービスの利用につなげるためには、どのようなことを改善する必要があると思いますか？（自由記述）。

II 貴事業所が取り組んでいる活動（地域で行う公益的活動等を含む）について、お聞きします。

問4 普段活動されている中で、地域の人々からどのような日常の困りごと、地域の問題等を聞くことがありますか。

問5 問4の回答の中で、貴事業所が対応できるものにはどんなことがありますか。

問6 上記の対応をするうえで、行政を含め他の団体等に協力してほしいことはありますか。

問7 貴事業所では、活動を行ううえで他のボランティア団体や公共団体等との交流や協力関係がありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 自治会 | 9. N P O |
| 2. 地区コミュニティ | 10. 商工会・商店街・企業等 |
| 3. 民生委員・児童委員、主任児童委員 | 11. 保育所・幼稚園・こども園 |
| 4. 老人クラブ | 12. 小・中学校、高等学校 |
| 5. 高齢者福祉施設 | 13. 保護者会・P T A |
| 6. 障がい者福祉施設 | 14. 特に関係はない |
| 7. 社会福祉協議会 | 15. その他（具体的に
） |
| 8. ボランティア団体 | |

問8 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする
2. 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する
3. 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う
4. ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する
5. 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る
6. 困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする
7. 介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う
8. 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する
9. 特ない
10. その他 (具体的に)

問9 多様な生活課題に対して制度等の枠を超えた包括的な相談支援の仕組みを充実していくうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする
2. より身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所などの相談を充実する
3. 相談に行けない(行かない)人を発見し、窓口につなぐ取組を充実する
4. 相談を支援に結びつけるよう、関係者のネットワークを充実する
5. 課題を解決するため、サービスや社会資源を開発する取組を充実する
6. 相談しやすいように、窓口の開設時間や相談を受ける方法を改善する
7. その他 (具体的に)

III 相談体制についてお聞きします。

問10 最近の相談内容や支援対象者の傾向について、どのように感じますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 既存の制度では対応できない個人や世帯が増えてきている
2. 分野をまたがる複合的な福祉課題を抱える個人や世帯が増えている
3. 対象者だけではなく、世帯全体への支援の必要なケースが増えている
4. 地域のつながりが薄れ、社会から孤立した個人や世帯が増えている
5. 相談や支援を拒否する個人や世帯が増えている
6. 特に変化は感じない
7. その他 ()

問11 「制度の狭間」や「複合多問題」といった福祉課題を抱えた個人や世帯について、相談を受けたことがありますか。(○は1つ)

1. ある → 問11-1・11-2へ
 2. ない

問11で「1. ある」と回答した方のみお答え下さい。

問11-1 問11のような相談は、どこから受けることが多いですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 当事者 3. 民生委員・児童委員 5. 事業所
 2. 近隣住民 4. 相談支援機関 6. その他 ()

問11-2 受けた相談が通常関わる業務範囲以外の内容である場合、どのように対応していますか。(○は2つまで)

1. 相談内容に合致する相談支援機関に直接連絡し、相談者と同行訪問して状況確認するなどの対応をしている
 2. 相談内容に合致する相談支援機関に直接連絡し、対応を依頼する
 3. 相談内容に合致する相談支援機関を相談者に伝え、相談者から直接相談してもらっている
 4. 業務範囲以外の相談内容であっても、できる範囲で対応している
(※対応の多い内容を記載してください)
 5. 業務範囲以外の相談内容には、特に対応していない
 6. どのように対応したらよいかわからない
 7. その他 ()

問12 相談者への支援にあたって通常関わる業務範囲以外の相談支援機関・施設と連携する必要があるときに、連絡や連携はスムーズに行われていると感じますか。(○は1つ)

1. 感じる
 2. 感じない → 問12-1へ
 3. 連携する機会はない

問12で「2. 感じない」と回答した方のみお答え下さい。

問12-1 その理由として最もあてはまるのはどれですか。(○は1つ)

1. 連携に必要な相談支援機関・施設などの資源が地域に少ない
 2. 他の相談支援機関・施設と日頃からの交流がない
 3. 他の相談支援機関・施設の内容や対応可能な業務が共有されていない
 4. 他の相談支援機関・施設の業務に関する知識に乏しいため連絡しづらい
 5. 他の相談支援機関・施設に連絡しても断られる
 6. どのように(どこと)連携すればよいかわからない
 7. その他 ()

問13 最近、「制度の狭間」や「複合多問題」といった福祉課題を抱えるため、単独の部署や相談支援機関のみでは対応困難な個人や世帯が増えてきていると言われています。このような場合に、複数の関係部署・機関をコーディネートする部署や相談支援機関が必要と考えますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 必要である | → 問13-1へ |
| 2. 必要でない | → 問13-2へ |

問13で「1. 必要である」と回答した方のみお答え下さい。

問13-1 コーディネートする部署や相談支援機関に必要な機能は何ですか。
(○は2つまで)

- 適切にコーディネートできる能力
- 様々な制度や分野に関する知識
- 部署・相談支援機関同士の顔が見える関係づくり
- 部署・相談支援機関の間で、支援の経過を確実にやりとりするための連絡票などの仕組みづくり
- 課題をとりまとめ、既存の制度では対応できない課題を解決するための新たな制度づくり
- その他 ()

問13で「2. 必要でない」と回答した方のみお答え下さい。

問13-2 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 既に連携をコーディネートする機能(仕組み)があるから
- 通常業務の中で連携が図れているから
- その他 ()

IV 災害に関するこ_トについてお聞きします。

問14 近年、災害が多発しています。災害に備えて日頃から地域でどのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

1. 日頃から顔の見える関係づくりのために、地域でふれあえる機会を多くつくる
2. 防災訓練のあり方を見直し、災害時の避難訓練などを定期的に行う
3. 見守りが必要な世帯を記載した防災マップを整備する
4. 防災学習や地域独自のハザードマップづくりなど、自主防災会等の活動を活発化する
5. 災害時に備えて地域や自治会で見守り等が必要な方の個人情報の取扱いを考える
6. 必要物資を備蓄して災害に備える
7. その他 ()

問15 貴事業所がある地域では、災害時において、避難が困難だと感じる人がいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問16 避難が困難だと感じる人に対して、貴事業所ではどのような取組をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 災害時に支援が必要な人がどこにいるかなどの情報提供
2. 地域での防災組織の確立
3. 災害時に活動のコーディネートや支援を行う人材の育成
4. 災害時の避難や救出等に活用できる資材の準備
5. 平時からの意識づくりや話し合い、訓練などの実施
6. 個別避難計画等の作成
7. 災害等の情報の入手方法
8. 特にない
9. その他 ()

V 福祉制度や福祉事業についてお聞きします。

問17 「あすたねっと」について、貴事業所が対象としている人で、「あすたねっと」の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援を行うことがありますか。
(○は1つ)

1. 利用するための支援を行うことがある
2. 利用するための支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある
3. 利用することが望ましいと思う人を発見することはない
4. その他 (具体的に)

※ 丸亀市自立相談支援センター「あすたねっと」：経済的な問題、就労に関するここと、ひきこもりなど、様々な生活課題を抱えた方や家族のための相談窓口として丸亀市社会福祉協議会が設置しています。

問18 「再犯防止」について、貴事業所が取り組んでいることや協力していることはありますか。(○は1つ)

1. ある (具体的に)
2. ない

※ 「再犯防止」の取組とは、犯罪をした者等の円滑な社会復帰を促進し、再び罪を犯さないようにして、誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現するための取組です。

問19 貴事業所が今後、社会貢献活動を行う矯正施設や更生保護施設等と共同で取り組めることはありますか？(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 環境保全活動 | 4. 専門知識の伝授 |
| 2. 居場所づくり | 5. その他 () |
| 3. ものづくり | |

※ 「矯正施設」とは、非行や犯罪をした者を矯正して社会復帰させる施設のことです。「更生保護施設」とは、矯正施設から出所・出院した人や保護観察中の人が身寄りがなく帰るべき住居がないこと等、直ちに自立更生することが困難な人に対して一定期間宿泊場所や食事を提供する民間の施設のことです。

問20 成年後見制度について、貴事業所が対象としている人で、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援等を行うことがありますか。(○は1つ)

1. 成年後見制度を利用するための支援を行うことがある
2. 制度を利用するための支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある
3. 活動のなかで、成年後見制度を利用する人が望ましいと思う人を発見することはない
4. その他 (具体的に)

※ 「成年後見制度」とは、認知症の高齢者や知的障がい、精神障がいがあるなどの理由で、ご自分で物事を判断する能力が十分でない方の、権利や財産を守るための制度です。

問2 1 成年後見制度の利用を促進するうえで、力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 市民や関係者に制度を周知するよう、情報提供や広報を充実する
- 2. 支援が必要な人を発見し、相談や支援につなぐ取組を充実する
- 3. 市民後見人（後見活動を行うボランティア）も含め、支援の担い手づくりを充実する
- 4. 支援や連携の中核機関（社会福祉協議会が運営する「後見センターまるがめ」）を充実する
- 5. 手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする
- 6. 制度を利用するための経済的な負担を軽減する
- 7. 特ない
- 8. その他（具体的に

)

問2 2 貴事業所における、現在の行政や社会福祉協議会との連携状況や取り組み、地域福祉推進のために今後取り組みたいこと、住民組織等との連携についてや、人材の確保についてなど、思っていることや課題をご自由にお書きください。

■その他、地域福祉に関するご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

VI 社会福祉法人の方にお聞きします。

問23 地域における公益的な取組の実施状況について教えて下さい。(○は1つ)

- 1. 積極的に取り組んでいる。
- 2. 取り組んでいるが、十分ではない。

問24 香川県内で実施している「香川おもいやりネットワーク事業」を知っていますか。(○は1つ)

- 1. 参画している → 問24-1へ
- 2. 知っているが加入していない
- 3. 今後、加入を検討したい
- 4. 名前は知っている
- 5. 知らない

→ 問24-2へ

※「香川おもいやりネットワーク事業」とは、地域共生社会の実現に向けて、香川県内の社会福祉法人施設・社協・民生委員児童委員がつながり、支援を必要とする方を、「地域でトータルにサポートする仕組み」をつくり、「香川型“福祉でまちづくり”」を目指した事業です。

問24で「1. 参画している」と回答した方のみお答え下さい。

問24-1 「香川おもいやりネットワーク事業」の取り組みについて、成果があったと感じていますか。(○は1つ) また、そう思う理由について具体的に記入してください。

- 1. 何らかの成果があった
- 2. 成果が見られなかった
- 3. わからない

理由 (具体的に記入)

問24で「2. 知っているが加入していない」「3. 今後、加入を検討したい」「4. 名前は知っている」「5. 知らない」と回答した方のみお答え下さい。

問24-2 加入していない理由または加入に際して課題となることについて教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 会費が高い
- 2. 参加のメリットを感じない
- 3. 対応できる体制が整っていない
- 4. 人材確保が難しい(担当者配置が困難)
- 5. 法人の理解を得にくい
- 6. 事業内容が分からない
- 7. その他

(具体的に)

問25 「香川おもいやりネットワーク事業」が「地域づくり」を進めていく一つの事業として、貴事業所が地域の中で実践できることや、今後取り組んでいきたいことを具体的にご自由にお書きください。

問26 今後、地域の中でどのような繋がりや資源が必要と感じていますか。また、どのような課題が考えられますか。

ご協力ありがとうございました。